

トランジット

ジョーティッシュではダシャーシステムという強力なシステムが存在するためか、西洋占星術ほどトランジットを重視しません。

ジョーティッシュではダシャーで示されたカルマが発芽するトリガーとなるのがトランジットで、あくまでもトリガーの役割です。従って、最初からそれが起こることがダシャーによって人生の中に埋め込まれていたのであると考えます。従って、K・N・RAO先生はトランジットを強調しすぎると予言に失敗すると述べています。

木星と土星のダブルトランジット

とは言え、トランジットも見なければ予測ができないことも事実であり、結局のところ、トランジットは重要です。K・N・RAO先生は何か大きな出来事が起こる時、必ず、木星と土星のトランジットが働いていると述べており、これは逆説的ですがトランジットの重要性を述べています。

例えば、「Planet and Children」という著作において、木星と土星のダブルトランジットが子供の出産において決定的な役割を果たすということを述べています。

注：ダブルトランジット（DT）

土星と木星が両方、在住やアスペクトをして同時に影響を投げかけること

実際にジョーティッシュを実践していると、ダシャーの効果が素晴らしいため、最初のうちはトランジットなどは全く考えなくても予測ができる程です。マハダシャーやアンタルダシャー、プラティアンタルダシャーの変わり目は、正確にチャートの持ち主に体験されており、ダシャーの威力を思い知らされます。しかし、トランジットを習得するとさらにその知識に厚みが増すと言えます。

出来事が起こる可能性がある時期の中から実際に起こる期間や日付を絞り込むことが出来ます。

以下が惑星が一つの星座を移動する時間であり、惑星の移動速度です。

惑星	1つの星座を通過するのにかかる時間
太陽	1ヶ月
月	2日と6時間
水星	20日
金星	1ヶ月
火星	45日
木星	12ヶ月
土星	2年半
ラーフ	1年半（逆行）
ケートゥ	1年半（逆行）

一般に惑星は移動速度が遅いほど、星座やハウスを通過するときに強い影響を及ぼします。

木星や土星、ラーフやケートゥのように1年や2年半をかけて星座やハウスをゆっくりと移動する場合、

それは長期に及ぶ出来事や傾向を表します。

一方で、月や水星や太陽のような惑星は日々の出来事を表したり、太陽だと季節の移り変わりに対応した出来事などを表します。金星や火星も比較的周期が短く太陽と速度は似ています。これらは日常生活の出来事です。毎年、起こったりして繰り返し経験する出来事です。

然し、木星や土星の場合、そういうわけにもいかず、木星は12宮を一周するのに12年、土星は30年かかるため、一生に一度しかない出来事を表したり、一生という長いスパンの中で、1回とか2回ぐらい起こるような重大な出来事を表します。これはラーフ、ケートゥも同じです。

例えば、土星が月が在住するハウスの12室目から2室目に抜けていく7年半の期間をサディサティと呼びますが、この期間は過去世の否定的なカルマが噴出してくる厳しい時期と言われていています。これは一生のうち、起こるとしても2回か多くても3回ぐらいです。この7年半のうち、最も厳しく困難な時期が月が在住する星座を通過する2年半です。これは一生という長い人生周期の中で扱われる出来事です。日常生活とか毎年起こるような出来事ではありません。

従って、人生に一度とか多くても数回しか経験しないような結婚とか出産とか昇進とか引っ越しといった非日常生活の出来事は木星と土星のダブルトランジットが影響していることがほとんどです。

何故、木星と土星の両方が必要かという点、ポール・マンレイ氏によれば、これらは木の成長に例えることができると言います。

土星が木の根っこだとすると、木星は木の枝とか葉っぱの部分に該当するとのこと。

木が高く成長するためにはそれに見合うだけの根っこが地中深くに根付いていなければならず、それがあって初めて葉っぱを伸ばしていくことが出来ます。葉っぱや枝などはどんどん光のくる太陽に向けて伸びていきたがり、拡大していこうとする衝動を持ちます。一見、外から見れば、その衝動が大事なように感じます。だから通常、拡大とか発展という意味のある木星だけの影響があれば十分で、土星という本来、苦勞とか忍耐とか下働きを表すような惑星の影響はあまり好ましくないような気もしますが、実際にはこの世の中では物事が成就するためには木星と土星の力が両方必要なようです。

これは例えば人間の肉体にも言えることです。人間の肉体の70%は水分だと言われますが、その水分が流れ出さないで肉体のフォームの中に保っているのは骨格のおかげであり、細胞膜などのおかげです。これらの形を保つ骨組の部分は土星であり、非常に地味な機能ですが、土台の部分です。その土台の中で、ほとんどが水分である脳とか臓器が様々な機能を持って働いて生体を維持しています。従って、人間の肉体が生成するためには土星と木星の影響が必要です。

あるいは社会を円滑に動かすための法制度もそうです。

木星は道徳や理想を表しますが、土星は制度、組織や条文などの形ある実体を表します。

法律というのはある社会的理想や道徳を実現するために成文化されて、長い年月のうちに裁判官や弁護士が前例による法解釈と新たな事例に対する法の適用を積み重ねて形成されていきます。

それは犯罪の抑止につながったり、争い事を解決するので、一つの理想を実現する形ある実体です。

これも理想だけではどうしようもなく、やはり理想を条文化して法律にして始めて社会秩序を維持する

ことができるのであり、理想や道徳としての木星だけではなく、それを組織し、条文化し、形にする土星の働きが必要です。

このように物事が成就するには木星だけでなく土星のトランジットが必要になります。

Edited by Kanteiia